

## 鶉住居地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

### 記

- 日時 平成29年10月11日(水)18時30分～20時10分
- 開催場所 鶉住居地区生活応援センター
- 次第
  - 1 挨拶
  - 2 本日の趣旨とこれまでの経緯
  - 3 町界町名変更について
    - (1) 町界町名変更の必要性について
    - (2) 町界町名変更のスケジュールについて
    - (3) 住所について
    - (4) 町界町名変更「案」の検討について
    - (5) 地割界(町界)の現状について
    - (6) 町界町名変更案について
    - (7) アンケートの実施について
  - 4 農業用水について
  - 5 ごみ集積所の整備について
  - 6 鶉住居復興住宅2号棟のあそび場について
  - 7 意見交換

無電柱化について、初めて聞いた。本当に素晴らしい計画だと感激している。

質問の1つ目は、横断歩道、信号機がある箇所において、寺前、学校前、新川原の横断歩道に高い街灯が付いているが、国道沿いにも街灯が必要だと思う。見解を聞かせてほしい。

2つ目は、長内川日向街道の入り口の電柱の支えが交通安全の上で問題だと感じる。無電柱化の時に解消してもらえるのか。

- 1つ目の件ですが、国道では全国どこでも、横断歩道、交差点における道路照明のため、設置するものとなります。自治体で設置するものであり、国道で地中化する際には、街路灯に線を引けるよう御相談を受けているところもあり、それに対応していきたいと考えております。2つ目の件ですが、無電柱化は国道45号沿いの歩道に限定されます。外れた箇所の電柱の扱いについては、電力会社、NTTに個別相談して検討していただくこととなります。
- 1つ目の件ですが、釜石市では、市道の交差点付近に街路灯設置を予定しております。防犯灯と街路灯に分けて設置しますが、町内会、自治会と相談しながら進めていく予定です。2つ目の件ですが、支えの電柱については、今後移設する方向でNTTに依頼しています。

無電柱化の工事が2～3年かかるということだが、復興工事の期間中に出来ないのか。また、大雨の時はトランス、地下管は、機能を失ってしまうのではないのか。

- 沿道の区画の姿、形、利用形態がある程度明確になり、どこにどれだけ引き込むのかが把握できたうえで、初めて設計が完了し、電力会社とNTTから御協力いただけます。そのため、後追いとなります。また、共同溝設計により、嵩上げ工事に遅延は生じないと考えております。なお、RWC2019会場への主要動線は、優先して着手していきます。
- 大雨への対処の件ですが、道路の嵩上げが計画通りに進めば、そこまで冠水することは無く、ある程度大丈夫だと考えられます。しかしながら、本格的に浸かってしまえば、使用不可となる可能性もございます。

国道の排水路工事を先にやれば、造成地が水溜まりになることはない。早く国道の排水路工事をしてほしい。

- 造成地の冠水は、国道の排水整備ではなく、その先の下流が整備されていないことが原因です。下流が出来ていない以上、繋いでも解決されないと考えられます。
- 現在、市が下流部分の整備を行っております。もう暫くお待ちいただければ完成しますので、よろしく願いいたします。

国道の歩道の下を通っていた排水管を全て撤去されたが、新しい排水管はまだ整備されていない。そのため、水がうちの方に集まってきている。いつ新しい排水管を整備するのか。

- おっしゃっているのは、旧国道の長内橋周辺の部分だと考えられます。その撤去は、三陸国道事務所ではなく、市の区画整理事業で実施しております。そのため、整備時期については三陸国道事務所から回答出来かねます。おそらく、長内川下流整備に合わせて繋ぐ流れになると想定されます。
- 区画整理事業により、現在、下流のボックスカルバートを整備しております。薬王堂付近の国道の両側に、新しい水路をこれから整備する排水計画がございますので、もうしばらくお待ち下さい。

区画整理区域内だけ新しい町名になるということだが、区画整理区域外の町名とのアンバランスが出

てくるのではないか。それが、この町名が変わった後に出てくる課題だと思う。

- 仮に、範囲を広げて区画整理区域外も町名を変更する場合は、区域外の住民皆様の合意もいただかなければなりません。役所の職権で住所変更を行うことに伴い、住民の方々の個人負担として、生命保険や預貯金、運転免許証等、様々な住所変更の手続等が出てきます。高齢者の方からは、面倒なことをしてほしくないという御意見もあり、区画整理区域外の方に、その負担を求める訳にはいかないと考えております。
- 新町名への変更により、区画整理区域は過去に東日本大震災で大規模な被害があった区域だと、百年後の子ども達にも伝えることになるので、御理解いただきたいと思います。

無電柱化は大地震時に倒れ救急車が通れない、消防車が通れないということが無く、防災面でプラスになるのは分かる。市道の狭いところでこそ、無電柱化が一番必要だと思うが、市の展望を教えてほしい。

- (野田市長) 交通渋滞については、釜石市の従前からの課題ですが、無電柱化は、多額の費用がかかることから、国による支援制度が出来ることにより、市も初めて無電柱化工事を実施出来ます。大変申し訳ありませんが、もう少々御辛抱をお願いいたします。

(野田市長 閉会の挨拶)

今日は、町界町名変更が大きなテーマでした。まず、アンケート実施し、記入されたアンケートをとりまとめ、次の展開を考えていきたいと思っております。

変更区域以外の地域と不公平感が出てくるのではという意見については、全くそのとおりでございます。現在でも、例えば甲子町の第15地割で、字がついている地区もあります。今回、区域外へ手を広げますと、全地区が対象となってしまう、なぜ自分の地区ではやらないのかという話になりますので、大変申し訳ありませんが、区画整理区域内で行いたいと考えております。もちろん、あと1軒だけ含まれれば、スムーズにいくという地域があるのであれば、相談に応じたいと思いますが、全体としてはそのような考え方になることを御承知いただきたいと思います。平田地区も区画整理の区域のみです。震災前から、自分の地区も変更してほしいと要望がありましたが、変更には多額の費用もかかり、また、個人的にも大きな負担がかかります。役所にて住民票、印鑑証明を変更したり、免許証の住所を変更したり、全て自身で行わなければなりません。特に、釜石市は高齢者が多く、面倒なことをやるなどもおっしゃる方も多いです。その辺りも勘案していかなければなりませんので、今回は申し訳ございませんが、区画整理区域内と取り決めております。その点については、ご理解いただきたいと思います。

また、無電柱化のお話が三陸国道事務所さんからあり、大変熱心で良かったと感じております。街路灯については、市が設置しなければなりませんので、次回のテーマとさせていただきます。今日はごみ集積所の話がありましたが、街路灯、消火栓等生活に必要な内容が今後出てまいりますので、皆様と共有しながら、次の展開を考えていきたいと思っております。お金が無いことを理由に実施しないということはございません。お金が無くても、やらなくてはいけないものがございます。皆様にご相談しながら、必要な箇所に必要なものを設置させていただき、住民が安心して暮らせるよう努めてまいります。よろしく願いいたします。

また、メモリアルパーク、伝承施設の話もいたしました。ワールドカップの開催前までに施設を建設することや、3.11の記憶を次の世代に残すための市民憲章を作ること等、様々取り組んでおります。市民の皆様のご反応が鈍く、風化しているような感じがします。それどころではないと考えられている方もいらっしゃると思いますが、いずれ来年再来年に被災者の方が戻られた際、鶴住居地区が記憶の場所

になると思っております。鶉住居地区の方々は、施設が出来ることだけではなく、お住まいの方々の想いにも関心があると思います。そのため、自主防災活動の組織、自分達の町を自分達で守っていく教訓を地域の皆様がどう共有するか、これについてさらに深めていかなければならないと考えております。住宅が建ち並ぶにつれて、何処に避難経路の看板を設置したら良いか等も皆様と協議しながら、最終的に市民憲章を作り上げていきたいと思っております。まちづくり協議会だけでなく、市民フォーラム、反省の場等を設置していく必要があります。よろしく願いいたします。

大雨のために、皆様には大変ご不便をおかけしております。今日の話を受け、きちんと対応できる部分は対応していきたいと思っておりますので、どうぞご理解の程よろしく願いいたします。長時間にわたりまして、様々ご意見いただきました。また次回よろしく願いいたします。

(片岸減災公園ワークショップ開催のお知らせ 事務局より)

片岸公園整備の事業化が決定しました。今後、本格的に進めていきます。減災公園という位置付けであり、一般的な公園と目的が異なります。このことについて、自然の回復や新たな市民の憩いの場とするため、ワークショップを2回開催する予定です。

1回目を11月3日の午後1時から、鶉住居生活応援センターで開催いたします。是非、足を運んでいただきますようお願いいたします。

(閉会 20:10)